

自分を信じて、前向きに



商学部長

いしかわ
てつお
石川 鉄郎

商学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとって、中央大学商学部での学生生活はいかがでしたか。何を学びましたか。自分はこれを学んだ、あるいは自分の専門はこれだといえることがありますか。また、どんな出来事がありましたか。どんな出会いがありましたか。

おそらく皆さんは、中央大学商学部でいろんなことを学んだはずですが、嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、悔しいことなど、いろいろな出来事があったことでしょう。さらには、さまざまな人との出会いもあったと思います。卒業にあたり、これまでの学生生活をいま一度振り返ってみてください。

これまでの学生生活を振り返るとき、ほぼ満足のいく学生生活を送ることができたと思う人もいれば、やり残したことが多かったと思う人も

いるでしょう。しかし、どちらの場合であっても、皆さんは、確かに人生の中で最もみずみずしい時を過ごしたのです。そして、そのようなみずみずしい時を過ごすことによつて、皆さんは確かに成長してきたのです。

今日、皆さんは中央大学商学部を卒業します。卒業と同時に、明日からは、社会人あるいは職業人として新たにスタートを切ることになりまします。これからの人生は長く、今まで経験したことのない大きな困難に直面することもあるでしょう。また、学生時代とは異なり、自立や責任も強く求められることになると思えます。しかし、過度の不安は不要です。程よい謙虚さを持ちつつ、中央大学商学部での学生生活を通じて成長してきた自分を信じて、前向きに今後の人生にチャレンジしていったらいいと思います。

最後に、皆さんの今後の人生が幸運に満ちたものであることを、心よりお祈りいたします。グッド・ラック。それでは、さようなら。

自信を持ってチャレンジ



理工学部長

いしい
よういち
石井 洋一

ご卒業おめでとうございます。新しい世界へ飛び出そうとしている皆さんに心からのお祝いを申し上げます。

皆さんが理工学部での学業を進める間に、社会的には大きな変化がありました。経済的な混迷の時期にあつて、将来への漠然とした不安を感じている人もいるでしょう。しかし、このような景気の後退や社会の変化はこれまでも繰り返されてきたことであり、また将来もたびたび起こるはずのことです。皆さんはそれを自分の力で乗り越えていかなければなりません。チャレンジジャーにとつて最も大事なことは、新しい環境や新しい仕事に対して、常に学ぶ姿勢を忘れないことです。

大学を卒業することは、学びを終わらせるものではありません。これまでがカリキュラムに従った学習でしたが、これからはそのような決まりごと

とはなくなりません。自由な学びということもできますが、何をどのように学ぶのかもすべて自分で決めなければなりません。

しかし、恐れなくて下さい。皆さんは4年間にわたつて理工学の考え方を学習し、また卒業研究では理工学を実践的に研究する方法を学んだではありませんか。卒業研究で皆さんが取り組んだのは、確かに一つの専門的課題であつたに過ぎないかもしれませんが、それによつて皆さんは、理工学の研究の仕方、問題の解決の仕方というものを経験したのです。その取り組み方や考え方は、社会で出会うであろうさまざまな問題に対しても通用するものです。

理工学部ですごした時間を、大変だったけれど充実していた、そんなふうに見えるなら、きっと皆さんはこれからの荒波を乗り越えていけるだけのポテンシャルを身につけたのだと確信しています。自信を持って未来の課題にチャレンジしてください。